

令和2年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
つながり(支えあい) ○小ネット情報交流会の開催 	日 時 令和2年10月2日(水) 場 所 穴吹農業環境センター 参加者 住民17名 実行委員他13名 内 容 「小地域生活支援ネットワーク活動」の説明 「あんしんカード」の説明 先進事例報告:野村地区小ネット活動 コロナ禍での地域課題事例の紹介 「天気の良い日は外に出ましょう」チラシの紹介 意見交換会・発表	コロナ禍で身近に起こった事例(孤独・徘徊等)の紹介、地域で助け合い活動を継続している「野村小ネット」活動報告を受けて、参加者からは、「できることは限られているが、少しずつ活動を再開したい」「遠目からの見守りは継続したい」等の声をいただいた。 感染症を十分考慮しながら、一人一人が取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指していきたい。
○ふれあい・いきいきサロン情報交換会の開催 	日 時 令和3年1月14日(木) 場 所 穴吹農業環境センター 参加者 住民29名 実行委員他15名 内 容 フレイル予防・栄養指導(講師:市包括 前田保健師) 体の体操とカードを使った頭の体操 あんしんカード作成の目的と利用活用 繋がるチラシを作った経緯と取り組み 集まれなくてもつながる方法、他地区の取組など コロナ差別をやめよう紙芝居DVD上映 意見交換会	地域の実情によってサロン活動を再開、中止している状況の中、フレイル予防について啓発することができた。また、簡単な運動や散歩等、「いま、できること・してほしいこと」を紹介し、推進できた。 感染症を十分考慮しながら、一人一人が取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指していきたい。また、引き続き、サロン活動に役立つメニューも紹介していきたい。
○未使用マスク回収ボックスの設置 	●「布マスクなど、家庭で使わないマスクがあれば、回収して福祉施設等の必要な方へ寄付しては・・・。」の意見から、「未使用マスク回収ボックス」を設置し、寄付を募った。 場 所 市内の商店やスーパー、社協事務所 対 象 未使用マスク(不織布マスクや布マスク等) 	500枚を超えるマスクが集まり、配布先を市内の社会福祉法人の連携会議で検討いただいた。 脇町高校JRC(ボランティア)部にも賛同いただき、学校全体で取り組んでいただけた。 個々の小さな取組から、地域のつながりを深める活動を推進していきたい。 
(防災・防犯)(つながり) ○あんしんカードの推進 	●救急車を呼ぶ「もしも・・・」の時、災害時の安全と安心を守るために活用してほしい旨を、小ネット情報交流会やサロン情報交換会で説明、配布した。 	高齢世帯や単身世帯が増加する地域で、あんしんカードを活用してもらうことで、 支え合い(つながり)への意識づけにつながると 期待できる。 今後も、防災・防犯、つながり(支え合い)の共通項目として、あんしんカードを周知・活用していきたい。
(環境) ○ペットボトルキャップ回収運動 キャップ提供者様へのお願い エコキャップ運動へのご理解とご協力を賜い、誠にありがとうございます。 現在提供していただくキャップの中に一部エコキャップ以外の物が混入していることがございます。 ご提供していただいている皆様には、以下の点にご配慮いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。 ①缶詰類(アルミ、缶等)やビン、蓋は入れずにご提供ください ②ペットボトル以外のキャップは入れずにご提供ください 	●啓発物(回収運動ポスター、分別協力依頼)の作成と周知 ●集まったエコキャップの分別作業と換金 1回目 令和2年8月20日(木) 2回目 3月中旬予定 	各家庭から各団体・小中学校等から定期的に協力いただいております、エコ活動・環境保護が広がっている。 昨年3月からの6か月間で200kgのキャップが集まった。 分別依頼をしたことで、キャップ以外の混入物は以前に比べると大幅に減少したが、実行委員による分別作業が必要な状況は続いている。 エコキャップ回収を継続しながら、一人一人が「すべきこと・できること」を検討し、環境保全や社会貢献への住民の意識向上につなげていきたい。 
○「SDGsを学ぶ」研修会の開催 	日 時 令和2年6月11日(木) 参加者 実行委員他 15名 内 容 SDGs(17目標のもと169のターゲットを学ぶ)について 講師:美馬市役所 企画財政課 小倉課長 	実行委員会が取り組んでいる活動も、SDGsのゴールやターゲットに関連していること、目標達成に繋がることを意識して活動していく必要があることを認識することができた。 今後も「できる範囲」で「できること」に取り組んでいく。取組が目標達成につながることを意識して活動を展開していきたい。

(けんこう)

○「ウォーキング大会」の開催
ノルディックウォークの啓発



日 時 令和3年2月14日(日)
参加者 144名(ボランティア参加者含む)



天気にも恵まれ、0歳児から80歳代と幅広い年齢の皆さんに、家族や友人同士で参加いただいた。
多くのボランティアの皆さん(児童クラブ、看護師、トイレ提供事業所など)のおかげで、開催することができた。

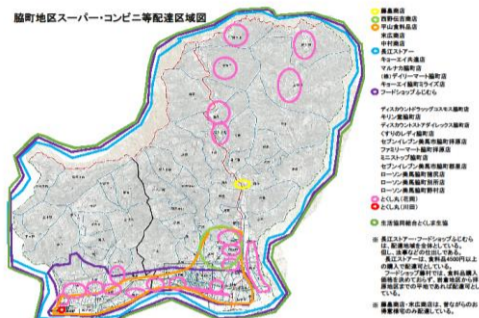
毎年恒例のウォーキング大会は、地域交流の場(機会)として、世代を超えて楽しめるイベントになっている。
今後も、健康習慣を推進し、健康寿命を延ばし、元気な協町を目指していきたい。



<地域資源調査>

○買い物資源マップの作成

協町地区スーパー・コンビニ等配達区域図



●第2層協議体定例会で、「買い物に困っている方がいる」と課題があがったことから、協町内の買い物資源調査に取り組んだ。

(店 舗 数) 商店 5箇所 コンビニエンスストア 7箇所
スーパーマーケット、ディスカウントストア 16箇所
(移動販売) とくし丸、生協、個人商店



町内の商店やスーパーなどの買い物資源を地図へ記入し、見える化が図れた。
身近な商店が少なくなってきた現状、ますます高齢化が進むことも踏まえ、今後の美馬市を考えていく良い機会となった。

マップをケアマネージャーなどの福祉関係者への配布し、活用いただきたい。
必要に応じて、その他の地域資源の見える化にも取り組んでいきたい。

